
隣のお兄ちゃん

綾榔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

隣のお兄ちゃん

【著者名】

N1658D

【作者名】

綾榔

【あらすじ】

高校2年生の由美。が隣のお兄ちゃん（輝樹）に調教されていく話

1・始まり

「ん~…中々いいの無いな。」

今日輝樹は陽太と一緒にゲームセンターに遊びに来ていた。
…いいじつオキヤツチヤーを探しているらしい。

「つまんねえなあ~。ナンパでも行つちやう~笑」

「ん~?…あッ あれよくない?」

「なんか言えよなあ 笑

どれどれ~?…ツでお前いつからそんな趣味に(笑)

輝樹が見ていたのは大きな熊のぬいぐるみだった。

チャリンッ

「いいの〇二 妹ちゃんにあげるんだよ」と言つと樂々GECTする

「妹ちゃんつて?ああ…由美ちゃんか」

由美とは本当の妹ではなく輝樹の隣に住む女の子だ

「そりそり 由美喜ぶだらうなあ」

「輝…マジで由美ちゃん好きだなあ~
俺には厳しいくせに 笑」

「ハハせえ 笑」

チャラチャラ／＼

陽太の携帯が鳴る

「あ バイトだ。」

ピッ

「えッ マジすか?...うーん……」

(なんかあつたんかな?)

「まあいいですよ ジャあ今から行きます」

ピッ

「なんかあつたのか?」「今からバイト入れる?だッて。ツて事で行つてきます 笑」

「マジで? 行つてきますじゃねえよ 笑」

「ゴメン。今月ピンチでも

じゃあな

ブーン…

陽太はバイクでバイト先に向かつて行つてしまつた…。

「まじかよ…。つまんねえなあ
しうがない。大人しく帰ろう…。」

ゲームセンターから家までは10分程。

地元の友達と遊ぶのは遠出しなくていいから便利だ。
さらに輝樹の家は101号室

あつと言ひ間に家に着いた。

ガチャつ

「ただいま」

「おかえり～。今日は早かったのね～ まだ5時よ? 「いきなり陽太がバイト入ったとかいやがつてよ」

「つてあんたその熊笹したの? 笑」

「ああ…これ由美にいいかなと思つてーーー」

「あッ! そおいや今日由美ちゃんが来てたわよ。今いなイツで言つたらかえつちゃつたけど。」

「そおなんだ? ジャあ今から行つてくるわ。」

「あんたも忙しいわねえ。笑
行つてらっしゃい」

由美は隣の部屋なので30秒もかかるないのですぐついた。

(由美喜ぶかなあ? / /)

ピンポーン

…………。

(いないのかな?)

ガチャツ!

「あつ 開いてるじやん

不用心な…」

といいながら入っていく。

「…由美～？」

とりあえず熊を置いといて中を進んで行く輝樹

「えッ！？」なッなんで」

輝樹がびっくりするのも無理はない
由美は裸で寝ていたのだ。

輝樹は由美のそばに座りこむ

（やつぱかわいいな）

そこでなにげなく携帯を見てみる。
…そこには18禁のサイトが繋がつたままだった。

「なー？これって…Hなサイトじゃ…。

由美ツて意外とH口いんだ」

「…。」

（どおしょわ。もお起こしちゃおうかな?
こんなチャンスなかなかないし…）

輝樹は由美を揺さぶる。

「ん……うーん。……？」

えッ おッお兄ちゃん！？

なつなんでいるのーー」

「ぬいぐるみあざよひと思ひにせ 」

「え……ッてゆーか恥ずかしいから見なこでよおーー

「やだ 由美かわいいもん 」

そう言しながら由美の手を持つて押し倒す。

「えッー…ちよつとお兄ちやん…やめとよーー」

由美は必死に抵抗するが男の力にはかなわない。

輝樹は耳元で囁く

「ねえ…裸で何してたの？」

もしかしてオナニーしてた？

「

由美の顔が真っ赤になる

「ちッ違つもんーー」

すると輝樹が由美の手を頭の上まで持つていきた手で押されつけてしまつ。

そして右手で割れ目をなぞる。

そこにはまだたくさんのお漏洩で潤っていた。

輝樹は人差し指で搔き回す
グチュウグチュウ

「あッああんッ！」

お…兄ちゃん…ああんッ」

「すり上げ濡れてるよー？」

体は正直だね？」

「んッ、そッそんなこと言わないで、あんッ」

さらに輝樹は中を搔き回す

(こ)のままやッちゃんおつかなー…)

と思う輝樹だつたが重大なことに気付く

(あー…ゴムがない…！)

やつぱ生はダメだよな…。まあまたチャンスはあるだろ。)

輝樹はふいに今まで動かしていた指を引き抜く

「お兄…ちゃん？」

「(「)めんな、こんな無理矢理。」

と言い部屋をでる輝樹。

部屋には由美一人が残される。

「お兄ちゃんの…ばか」

いきなり愛撫を止められ物足りない由美。

本当は今までにない快感をもつと感じたかったのだ。

この事があつてから由美は輝樹に對して以前と同じ様に思えなくなつていく…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1658d/>

隣のお兄ちゃん

2010年10月26日04時47分発行